

山行報告書

作成:2014年1月3日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	立山	目的[方法]	山スキーを使って3000m峰を登る
期間	2013年12月30日(月)-1月1日(水)	形態	山スキー 縦走 テント泊 往復
参加人数	2人		

行動記録:

12/29(日)

K宅(15:00)=0:30=豊田東IC(15:30)=3:20=呉羽PA(18:50,19:00)=0:20=立山IC(19:20)=0:40=立山駅(20:00)

12/30(月)

立山駅(7:20)=3:45=美女平(11:05,11:30)—1:25—ぶな坂(12:55)—2:20—1228mTS1(15:15,7:20)

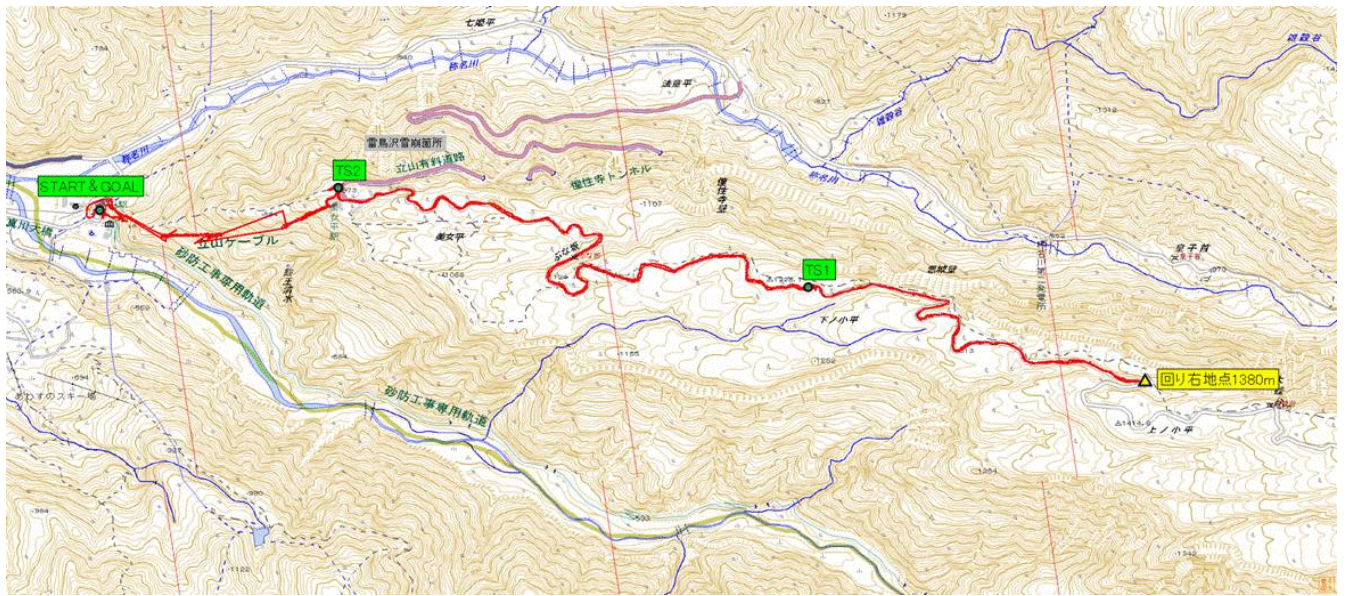
12/31(火)

1228mTS1(15:15,7:20)—0:40—滝見台(8:00)—2:15—1380m地点(10:15)—美女平TS2(14:30)

1/1(水):

美女平TS2(9:55)—2:05—立山駅(12:00,13:00)—0:30—立山IC(13:30)=1:20=城端SA(14:50,15:10)=2:20=豊田東IC(17:30)=0:30=K宅(18:00)

概念図:



日誌:

29 日

富山に向け出発。ひるがの付近で圧雪路となるが、富山に入ると路面に雪は無い。立山駅付近でまた圧雪路となる。前夜泊は立山駅隣の千寿荘に素泊(4500 円/人)風呂も入れ、ポットも備え付けられており快適。下山まで屋根のある駐車場に置かせてもらった。

30 日(小雪、風穏やか)

文登研側の扉が開いており構内に入りケーブルカーの道をつぼ足で登る。前日に入山した人のトレースが残っていた。この辺は足首ぐらい。一つ目のトンネルは工事の様でパイプが組まれており、スキーをザックに付けた状態では歩きにくいので外して階段を上った方が楽。所々氷が張っている。氷柱もあるのでメットがあった方が安心。

トンネルを抜けると急に雪が深くなりつぼ足では膝ラッセルになるためスキーを履いて登る。

二つ目のトンネルの工事はしていないようで歩きやすい。トンネルより上は急登になり、幅も狭いためジグザグで登るのに一苦労。Kは登り方がヘタでシールが滑りNさんに置いていかれる。スキーを外して登ろうとするも腰ラッセルで断念。Nさんからかなり遅れて美女平に到着。

トレースを辿り、脛ラッセル程度で道路を歩いていくが重いザックと重いスキーでKの脚が痛くなり、遅れる。1220m 付近で行動終了。長期間冬山に入る上でのコツを教わる。

31 日(小雪、風穏やか)

夜間の降雪で 15cm ほどトレースが埋っている。Kの脚は少し痛むが歩けないほどではないのでいける所まで前進。脚の前に靴擦れが痛み出し、10 時過ぎに 1380m で回れ右。シールを剥がしてクロスカントリーで下り、美女平で行動終了。美女平駅隣のバス整備所?が開いており中にテントを張る。

1 日(小雪、風有)

朝ゆっくり起床。ケーブルカー道をつぼ足で下り、トンネル内は用心のためアイゼンを履いて下り 12 時に下山。

千寿荘でシャワーを借りて岐路に着いた。

途中の城端 SA にクライミングウォールがあり、後で調べたら 1 時間 100 円で利用できるようだ。

感想:

ラッセル頑張ろうと思っていたのに、体力不足と軽量化不足で N さんに迷惑をかけてしまい申し訳なかった。

長期間冬山に入るためには食料を軽量化する必要がある、スキーも長く行動するためには軽くないと足が上がりなくなるのが致命的だった。

水分や栄養の取り方、行動中のコツなどを教わり、とても勉強になる山行だったが、実力不足だったと思う。

来シーズンまでにしっかり鍛えてリトライしたい。

参加者名	
------	--